

# どうする?私たちの兵庫

~6つのプロジェクトで、地域創生をめざす!~

## 若者×世代応援プロジェクト



挑戦を後押しする、兵庫

次代を担う若者が、望む学びや、働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向けた取組です。

## ひとりじゃないプロジェクト



みんなでつくる、居心地のいい場所

深刻化する社会的な孤独・孤立を防ぐため、多様な主体と連携してつながりを広げ、課題を抱える方々を支援する取組です。

## ひょうご五国豊穣プロジェクト



おいしい「ひょうご」を、召し上がり

農林水産業の生産性向上や高付加価値化に取り組むとともに、「農」を中心とした活気ある農山漁村づくりに向けた取組です。

## 外國人「第二のふるさと」プロジェクト



多文化共生で、誰もが暮らしやすく

外国人も日本人も同じように安心して暮らし、働く「共生する地域」の実現に向けた取組です。

## 五国のメリワイ育みプロジェクト



五国の魅力は、無限大!

地場産業や新産業など兵庫に集積する多様な産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組です。

## 五国のご縁(五縁)プロジェクト



私たちが主役! さあ、何から始めよう

地域で活躍するロールモデルを発掘し、交流を通して優良事例を横展開するなど、地域や人をつなぐ縁を生み出し、地域創生の活動を広げる取組です。

# 今日からアナタもHYOGO推し

~いいね!が見つかる、ひょうごの暮らし~

出典: 第3期兵庫県地域創生戦略

## 学びのサポートがたくさんある…らしい

### ① 県立大学について県内在住者の授業料などを無償化!

▶ 入学金(282,000円)及び授業料(535,800円/年)を免除(在学生と新入生との支援格差を考慮し段階的に実施)

### ② 留学支援金を給付し、海外留学をサポート!

▶ 約1か月間、上限50万円を補助します

### ③ 県立学校施設の環境をどんどん改善!

▶ 空調整備、個人用ロッカーコード整備、無線LAN環境整備等

## 優しい“地域づくり”が進んでいます

県内の「子ども食堂」の状況

**521ヶ所**

※R5年時点 小学校区実施充実率順位

**全国6位**

※認定NPO法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」調査

## ライフスタイルに合わせて働く企業がこんなに!

「ワーク・ライフ・バランスを取り組んでいます」と宣言している企業

… **3,894社**

その後、一定の基準をクリアして評価・認定されている企業

… **546社**

更にそのうち、先進的な取組により表彰までされている企業

… **167社**

※いすゞR6年10月末時点

## 実はファミリー層※に人気なんです

転入超過の推移



HYOGOには新しいワクワクがある、らしい  
~県民×五国、地域創生の取り組み~

発行／兵庫県企画部計画課  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1  
TEL:078-341-7711 FAX:078-362-3993

06企P2-108A4

# HYOGOには新しいワクワクがあるらしい

~県民×五国、地域創生の取り組み~



## 『地域創生』ってなんだ?

地域創生とは、人口が減少しても地域の活力を維持し、そこで暮らす人々が将来への希望を持てる地域を実現することです。兵庫県では、自治体や民間企業、各地で活躍する方々と一緒に様々な取組を推進し、地域創生の実現を目指します。

第1期と第2期の結果を踏まえて  
新しく計画を作ったんだね

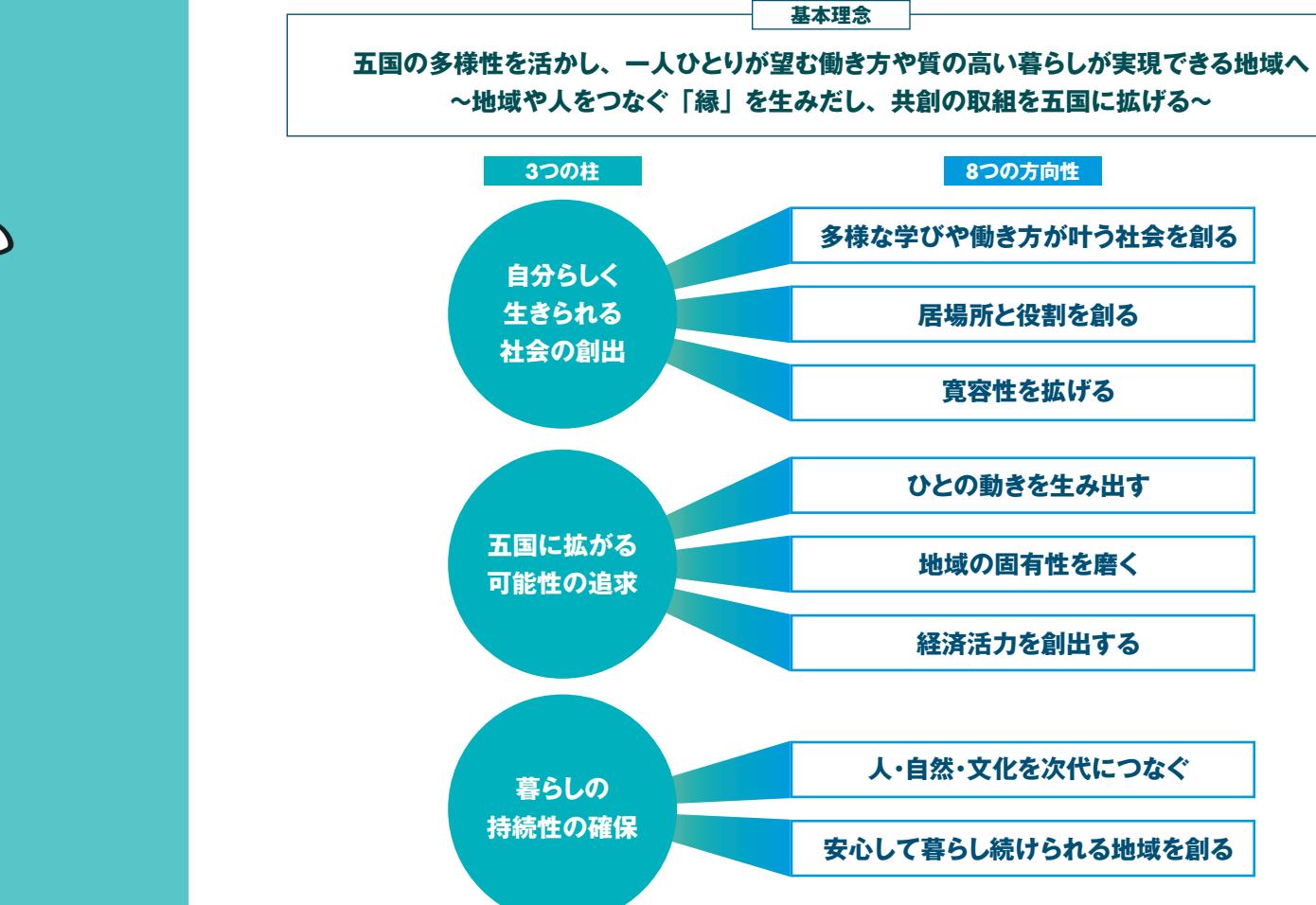


## 第3期(2025-2029) 地域創生戦略ってなんだ?

兵庫は、歴史も風土も異なる摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の「五国」でできており、その多様性や広いフィールドが「個性と強み」です。それらを活かした様々な取組により、各地で地域創生の「種」が芽吹きつつあります。この芽生えを育てつつ、五国全体に広げていくことが、地域創生の実現につながります。

このため、これまでの戦略の検証評価と、時代潮流や社会環境の変化を踏まえ、今後5年間の目標と取組の方向性を定める、第3期「兵庫県地域創生戦略」を策定しました。

## これから5年間の大きな目標



**人間は百面体。  
ひとつの面だけでも、  
つながれたら**

NPOや地域活動を応援する CS 神戸の事務局長  
100か所近くの居場所の開設・運営支援に携わる。

**認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸) 事務局長 飛田 敦子**

地域の「居場所」づくりで大事にしているのは、交流だけではなく「自分らしくいられて役割がある」場であること。人が元気でいらっしゃるために必要なことだと思います。三木の金物職人だった方が娘さんと住むために神戸に来られたけど、知り合いは一人もいない。「包丁研ぎ」の日を作ることで、ご本人の生きがいに。ずっと専業主婦をされてきた方が、子ども食堂で大活躍。大企業の重役で厳格だった方が、ボランティア活動を通して和やかに。そんな例がたくさんあります。参加者が

**ご縁をつなぐ、にぎわいづくり**

自分らしく生きられる社会の創出

子育てをしながら女性管理職として活躍。  
仕事と家庭を両立しやすい社内環境づくりに尽力。

**日本イーライリリー株式会社 部長 岡本 麻紀子**

リモートワーク、子育てしながらの管理職など、多様な働き方について当事者として取り組んできました。私の場合、「家庭の顔」と「仕事の顔」の両方があってこその自分。そのため、本当に自分でしようとすることは早々に諦めて人に任せながら、「ここだけは自分でやりきる」ということを決めてやったように思います。制度やカルチャーは作っていくもの。当事者がその立場にいるからこそ言えることを伝え、周りを巻き込んでいくことで変わっていくと思っています。

**諦めるところと、  
諦めないところのメリハリ**

**2つ3つの  
家族が助け合う、  
それも十分に  
コミュニティ**

神戸の下町で暮らす2児の母。  
下町暮らしの魅力を伝える様々なコミュニティ活動を実践

下町ぐらし研究所 代表 小笠原舞

長田はおせつかいな地域と言われますが、実は誰もおせつかいな地域と言われます。例えば、銭湯で隣りのおばちゃんが子どもを見てくれるのは、自然な興味関心なんです。それをありがと普通に受け取れば、「おを頼る」というハートルはそんなに高くはありません。自然体で助け合える身近なコミュニティがあると自分が楽で、自分らしく子育てや仕事ができる気がするんです。それぞれ、人が混ざり合って起こる化学反応。煙や朝活などいろんな入り口で、つながりを生んでいけたらと思っています。

**兵庫を盛り上げている  
みなさん、地域創生の  
ヒントをください!**

私たちが蒔いた、未来の種。

兵庫は今、「自分らしく活躍できるまち」へ大きく成長するチャンスを握んでいる。

県外から移住して地域課題に取り組む事業を立ち上げたり、

県内の特産品のブランド化に挑戦したり。地域活性化の背景には、未来の種を育んでいる人たちの温かい気持ちがあった。

私にも、何かできることはあるかな。

でも何から始めたらいいんだろう。分からな いから聞いてみよう。

すみません、兵庫県を盛り上げているみなさん、教えてください!

**2つ3つの  
家族が助け合う、  
それも十分に  
コミュニティ**

高齢化地域で、便利屋業を起業。  
みんなの居場所「相生ベース」をオープン

オオのナンデモ屋 理学療法士 渡部 政弘

「相生ベース」は、人気ゲームに出てくる「ルイーダの酒場」みたいにしたいんです。困っている人とそれを解決できる人をマッチングできるような場所に。この町の人って、いい意味でおせつかいなんですね。「お母さん」の代わりに子守りしてくれる「おばちゃん」ならたくさんいますし、「お母さん」も「おばちゃん」のリモコンの電池交換くらいなら時間割けるかもしれない。困っているときに素直に「助けて」と言える町。そんなネットワークを作りたいらしいなと思っています。

**ルイーダの酒場 みたく。  
困ったときに「助けて」と  
言い合えるまちに**

老舗酒蔵、西山酒造場の女将。蔵人や地域を巻き込みながら挑戦を続ける。丹波地域の風土や酒造りの魅力を伝える「鼓傳-koden-」をオープン。

株式会社西山酒造場 取締役女将 西山 桃子

地域にとって酒造りだけじゃない「酒蔵」の役割って何やろう? そう考えるようになった軒機は、2014年8月の豪雨による土砂災害でした。蔵も商品も土砂でダメになって「潰れるかも…」という状況で、ふとこの地域から伝統産業の火を消してはいけないと思ったんですね。美味しい地酒がある、通学路に酒蔵がある。それだけでも地元を誇れるきっかけになります。丹波の木材でメニュー・ブックやトレーを作ったり、地元農家さんの有機野菜を使ったり。食事や買い物しながら丹波の魅力に触れて貢献できる、そんな循環を生み出していくたいです。

**みんなで見守り、  
育てるまち**

暮らしの持続性の確保

**豊岡でゲストハウス起業。  
コンセプトは、旅行者と地域を繋ぐ交流の場**

Hostel Act&もりめ食堂 森 恵美

私が思う豊岡の一番の魅力は、やっぱり“人”かな。北前船の寄港地だった歴史があるからか、移住者にも旅行者にも壁がなくてフランクなんです。私自身、あちこち飲み歩くうちに地域の人との関係性ができて、今ではゲストハウスのお客さんも巻き込んでの交流。行きつけのスナックに外国人を案内してくれるおじいちゃんもいたり(笑)。市場や劇場や銭湯…豊岡の好きな場所にはずっとあり続けてほしいから、より多くの人が訪れるきっかけが大切なんです。

**職人宿場町  
創造的**

丹波篠山市に移住し、福住地区の移住コーディネートに取り組む。古民家や空き倉庫を活用し、地域全体の価値向上に貢献。

株式会社Local PR Plan 代表取締役 創造的職人宿場町福住事業協同組合 安達 鷹矢

移住者の僕が「まちづくり」って言葉を使うのは上から目線。脈々と暮らしが続き、福住のまちはすでにつくれられていたのだから。「創造的職人宿場町」の活動は、自分の毎日を豊かにすることしかなくて。近くにうまいコーヒー店やパン屋がほしいと、歴史的なまち並みに職人を集めたら、多くの人が訪れるようになっただけ。ただ利己的ではなく、仕掛けの先にまちの人の幸せは設計します。礼儀知らずの小僧を受け入れてもらった恩を返せるように。

**地域の資源を見逃すな!  
五国に拡げる可能性の追求**